



平成29年度加西っ子の学力・学習状況の報告



平成29年4月18日(火)に実施された「平成29年度全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、加西っ子の学力・学習状況について報告します。

1 全国学力・学習状況調査について



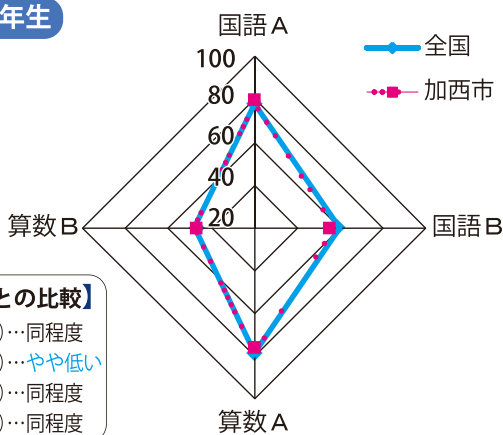
全国の小学校6年生と中学校3年生を対象とし、学力と学習状況の両面からの調査によって、児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立て、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を目指しています。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。

調査内容は、教科に関する調査として、国語、算数・数学について、それぞれ主として「知識」に関する問題（A問題）と、主として「活用」に関する問題（B問題）が実施されました。また、生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査も実施されました。

2 加西っ子の学力に関する状況について — 「教科に関する調査」結果から—

小学校6年生、中学校3年生の国語、算数・数学について教科に関する調査の結果を基に、加西っ子の学力と全国平均を比べてみると以下のとおりでした。

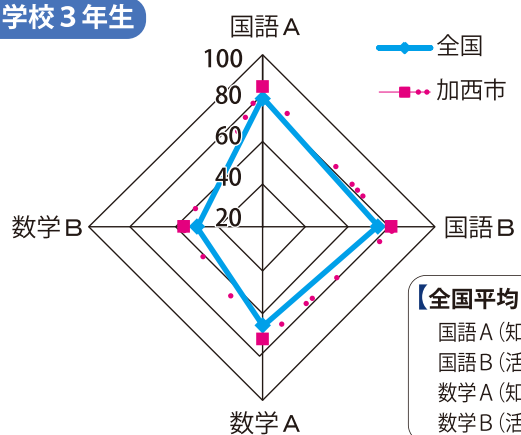
小学校6年生



【全国平均との比較】

国語A (知識) …同程度
 国語B (活用) …やや低い
 算数A (知識) …同程度
 算数B (活用) …同程度

中学校3年生



【全国平均との比較】

国語A (知識) …高い
 国語B (活用) …高い
 数学A (知識) …高い
 数学B (活用) …高い

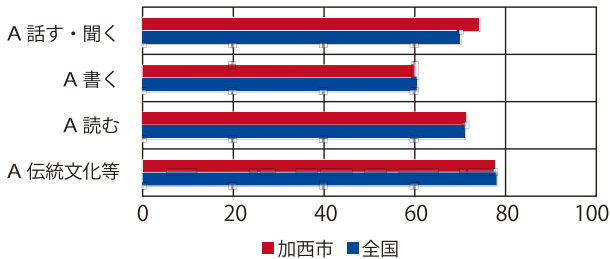
全国平均との比較から、小学校は概ね同程度、中学校は高い数値を示している

加西っ子の学力の状況は、小学校では、全国平均との比較から、国語B (活用) はやや低い数値を示しているものの、他は概ね同程度でした。一方、中学校では、国語・数学のすべての領域において、全国平均よりも高い数値を示しました。

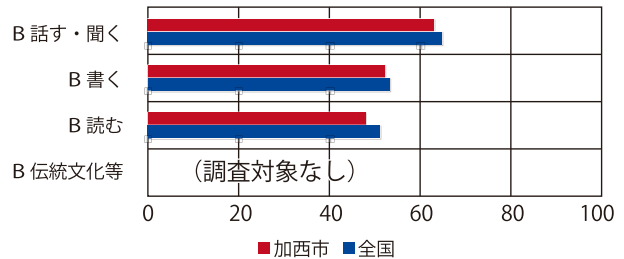
※学力の状況については、各教科・領域ごとに加西市と全国の平均正答率の比較によって把握しています。平成29年度より公表する点数の整数化に伴い、全国との差が「±0～1」を「同程度」、「±2～3」を「やや高い・やや低い」、「±4～」を「高い・低い」と表しています。

小学校

小学校・国語A



小学校・国語B



定着傾向が認められた項目・問題例

◇漢字の読み・書きなど基礎的な力が身に付いています。

- 【問題】「きぼう」→「希望」 【A知識 84.1% / 80.0%】
 「期限」→「きげん」 【A知識 94.1% / 94.5%】

◇ことわざの意味や言葉の適切な使い方について、理解することができています。

- 【問題】もちはもち屋 【A知識※1 86.0% / 83.6%※2】

◇互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことができています。 【A知識 74.1% / 69.2%】



課題の見られた問題例

- ◆漢字（同音異義語）を正しく書くことができる。
 「たいしょう」→「対象」 【A知識 31.8% / 42.0%】
※象→照、無回答での間違いが多く見られました。

◆目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができる。

【問題】イに入る内容を条件に合わせて書きましょう。

- 【アドバイス】から2つ
- お願いにふさわしい表現
- 30字以上60字以内

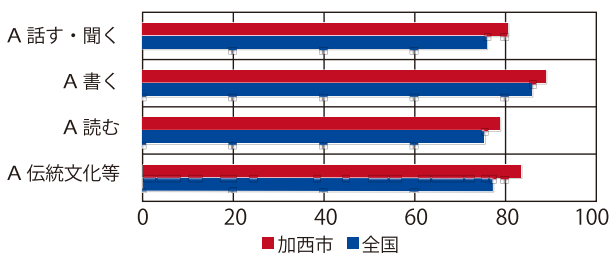
【B活用※3 31.2% / 33.0%】

水やりに協力してくれる人をほ集めます
 大きな球のカーテンを作るためには水やりが大切です。
 しかし、水やりはとでも大変です。 ねばら、
 イ

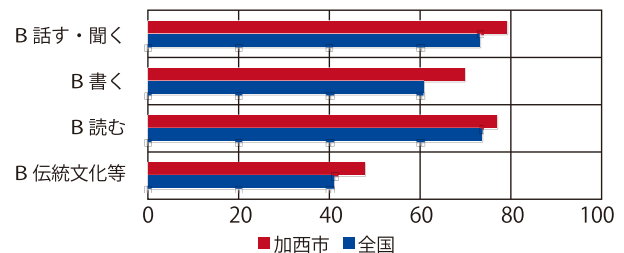
このように水やりはとでも大変なので、たくさんの人の協力がが必要です。協力してくれる人をはわたしたちに声をかけてください。ぜひ「いっしょ」に大きな球のカーテンを完成させ、全校ですすしい夏を過ごしましょう。

中学校

中学校・国語A



中学校・国語B



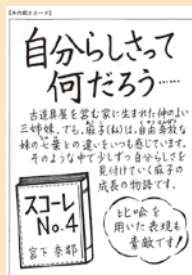
これまで課題とされてきた問題例

◆表現の仕方を捉え自分の考えを書くことができる。

【問題】本の紹介カードにある「比喩を用いた表現」に着目して本を読み、感じたことや考えたことなどをあとの読書記録に書きましょう。

【条件】

- 比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出す
- ①で取り上げた表現について、「誰の」「どのような」様子なのか、明確にした上で、感じたこと・考えたことを書く 【B活用 48.3% / 41.4%】



※書くことへの苦手意識が改善し正答率も上がっています。

定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇漢字を正しく読む力が身に付いています。
 「覚悟」→「かくご」 【A知識 99.8% / 98.7%】
 「垂れる」→「たれる」 【A知識 97.3% / 94.3%】

◇本や文章などから必要な情報を集めるための見通しをもち目的に応じて情報を読み取る力が身に付いています。

【問題】「走れメロス」を他の人たちはこのように読んだ」の部分を書くためのアンケートを作成します。

【条件】

- どのような人たちを対象としてアンケートをとるのか
- 読んだことがあると答えた人にどんな質問をするのか
- 回答を基にした内容を載せることで作品に興味をもってもらえると考えた理由 【B活用 77.0% / 68.8%】

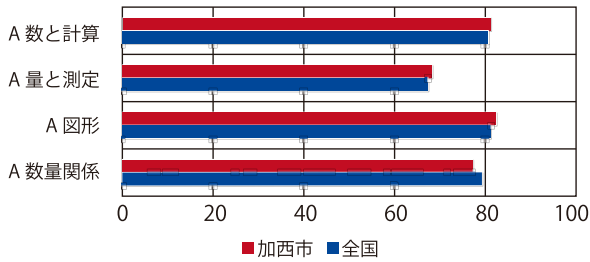
※1 「A知識」→「A(主として知識に関する問題)」
 ※3 「B活用」→「B(主として活用に関する問題)」

※2 「86.0% / 83.6%」→「加西市の正答率 / 全国の正答率」

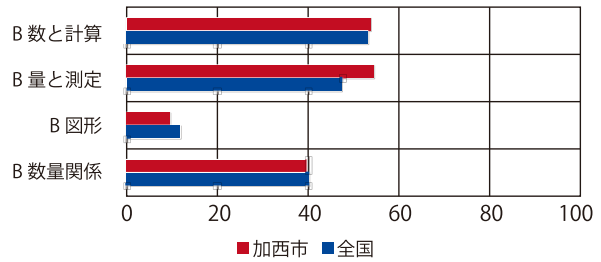
算数・数学

小学校

小学校・算数A



小学校・算数B



定着傾向が認められた項目・問題例

◇立方体の面と面の位置関係を理解することができています。

【A知識 92.5% / 86.7%】

◇平均の考えを用いた問題を理解することができています。

【問題】2回目の記録を除いて、4回分の記録を使って車が進んだきよりの平均が何cmになるか求めます。

【B活用 73.8% / 67.9%】

表1 ⑦の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

回数	車が進んだきよりの長さ
1	2m73cm
2	80cm
3	2m87cm
4	2m69cm
5	2m91cm

【問題】7m20cmを超えた部分に着目した平均の求め方を言葉や式を使って書きましょう。

【B活用 34.9% / 26.1%】



7mのかわりに、7m20cmをこえた部分に着目しても、平均を求めることができます。

課題の見られた問題例

◆小数と整数の加法の計算をすることができる。

【問題】 $10.3 + 4 =$ 【A知識 73.8% / 79.7%】

※10.7 と回答した間違いが多くありました。

◆身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断理由を書くことができる。

【B活用 10.3% / 13.2%】

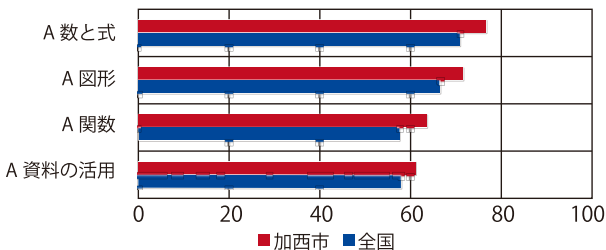


(2) 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最大の満月の直径」をもとにして、14%長くなっていく「最大の満月の直径」は100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。
下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。
また、選んだ硬貨のほうに「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

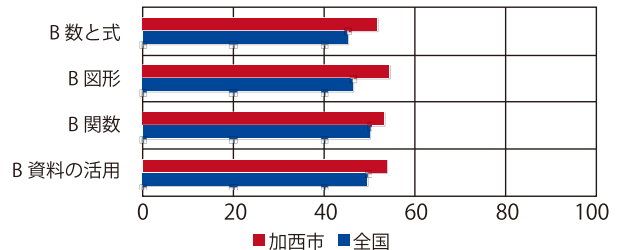
※算数的言語を使って説明することに苦手意識をもっている傾向があり、無回答率もやや高くなっています。

中学校

中学校・数学A



中学校・数学B

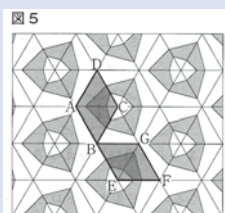


課題の見られた問題例

◆2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる。

【問題】図5の四角形ABCDの模様は、1回目の回転移動で四角形GBEFの模様に重なります。どのような回転移動によって模様になるか書きなさい。

【B活用 16.0% / 14.0%】



定着傾向が認められた項目・問題例

◇連立二元一次方程式を解くことができます。【A知識 77.3% / 62.2%】

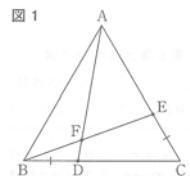
◇2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明することができます。

【B活用 60.8% / 44.1%】

◇付加された条件の下で、図形の性質を用いることができます。

【B活用 77.0% / 60.0%】

図1



証明

△ABDと△BCEにおいて、

合同な図形の対応する角は等しいから、

$\angle BAD = \angle CBE$

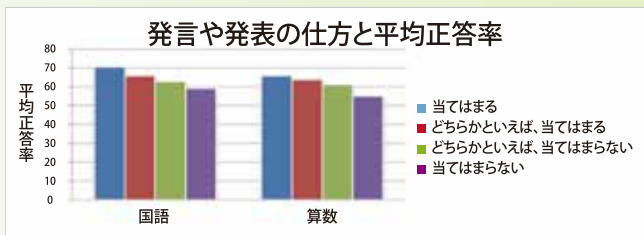
※数学的に解釈する力や説明する力が、身に付いてきています。

3 加西っ子の生活習慣や学習習慣について — 「児童・生徒質問紙調査」結果から—

子どもたちの学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となっています。加西っ子の生活習慣や学習習慣のうち経年比較から本年度改善傾向にある項目について取り上げています。また、加西っ子の「生活と学習」の関連で注目すべき質問について、取り上げています。

No	質問内容	小学校6年生			中学校3年生		
		H27	H28	H29	H27	H28	H29
1	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	95.7	92.2	95.1	94.4	93.0	95.3
2	自分には良いところがあると思う	72.3	76.3	80.0	57.9	69.9	73.3
3	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	57.6	59.4	56.7	38.3	40.7	41.3
4	算数・数学の勉強は大切だと思う	91.9	90.7	93.7	82.3	80.5	82.3
5	読書が好きである	62.0	68.8	65.4	68.9	65.7	76.5
6	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある (テレビやニュースへの関心を含む)	57.0	69.3	57.4	54.9	66.1	73.7

【質問】自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立て等を工夫して、発言や発表を行うことができますか？

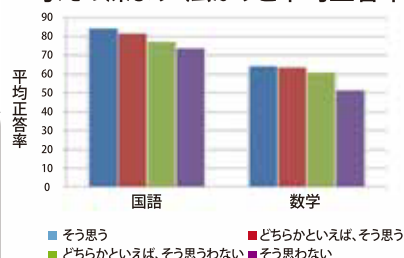


小学校において、自分の考えがうまく伝わるよう話の組み立てなどを工夫して発言や発表を行うことができますかとの質問に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた児童は、「当てはまらない・どちらかといえば当てはまらない」と答えた児童よりも、平均正答率が高い傾向が見られました。

主体的・対話的で深い学び
の視点による加西っ子の状況

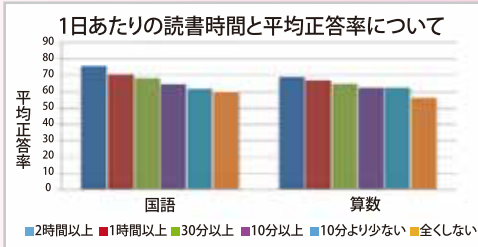
【質問】学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができますか？

考えの深まり・広がり平均正答率



中学校において、話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができますかとの質問に「そう思う・どちらかといえば、そう思う」と回答した生徒は、「そう思わない・どちらかといえばそう思わない」と回答した生徒よりも、平均正答率が高い傾向が見られました。

【質問】1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか？



小学校において、1日あたりの読書時間に応じて、平均正答率が高いという傾向が見られました。

以上の結果から、本年度調査の中で注目すべきは、

- ・有用感や自尊感情が向上した児童生徒の増加
- ・工夫して発表したり、自分の考えを広げたりする深い学び
- ・読書活動からの興味・関心の広がり

です。これらは、子どもたちの意欲や興味・関心といった学力の基盤となる力です。そして、基盤となる力の深まりや広がりが成果として表れてきていることは、継続的に「基本的生活習慣」や「基礎・基本の学習」の定着が図れていることでもあります。今後も、家庭や地域の連携・協力を得ながら、各学校が工夫と特色ある教育活動を展開し、加西っ子のさらなる成長を進めていきます。

4 加西市の小・中学校における学力向上の取組について

加西市教育委員会では、子どもたちの学力向上について、各学校の特色ある取組をサポートしながら平成29年度は以下の取組を重点的に推進しています。

学校教育課 加西っ子の学力・学習状況 URL



①学習支援システムの活用

- ・ICT機器を利用したデジタル教材やプリント教材の活用による学習の実施

②スクールサポーター事業の拡大

- ・スクールアシスタントやヤングアドバイザー等の学習の支援員の全校配置

③「かさいがんばりタイム」「かさい未来塾」の実施

- ・市内4中学校における放課後や長期休業中の補充学習の実施

④読書活動の活性化

- ・市内全小・中・特別支援学校における図書の新規購入
- ・市立図書館による学校図書館コーディネート事業の実施

⑤家庭と連携した生活習慣・学習習慣の確立

- ・家庭でのしつけ「ね・ひ・め・つ・こ」
生活習慣「あ・い・う・え・お」、学習習慣「か・き・く・け・こ」の啓発

